

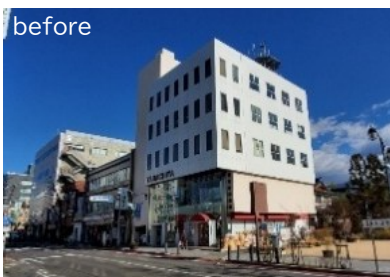
国宝天守のある城下町：官民協働による修景促進（長野県松本市）

複合扇状地に開かれた松本市中心市街地では、国宝松本城天守の周辺に、城下町時代の町割りや水路網、井戸、湧水等が残る。松本は街道が集中する交通の要衝でもあり、「水めぐる城下町」、「商都松本」等の複数のテーマが複合する歴史的風致を成している。

松本市では、歴史まちづくり計画第1期の期間を中核とし、重点区域で「歩いてみたい城下町まちづくり事業」を実施した。街路舗装、水場、ポケットパーク等の整備と併せ、補助率 2/3、上限額300万円で建物の修景補助を行い、住民、事業者、行政等が各々の役割を担いながら、歴史的風致の向上が図られてきた。



修景助成などにより歩いてみたい城下町に



商業ビル低層部の修景(街路との関係を重視など)

参考：街なみ環境整備事業の他メニューの活用

街なみ環境整備事業を活用し、民間の建築物への修景助成のほかに、街路の高質化、民間の井戸修景補助を実施。

※街路整備延長 2,120.8m
民間の井戸修景補助 11件



高質化を実施した街路



個人所有の井戸の修景

【事業に関する情報】

- ・重点区域内の5地区(中町・お城下町・お城の東・中央東・お城周辺)にて、平成元年度より順次まちづくり協定を締結。
- ・街なみ環境整備事業の中の街なみ整備助成事業を活用し、建物のファサード修景に対する補助を実施。
- ・修景実績：132件(平成元年度～令和4年度)※単費実施分を含む

【事業関連データ】(計画認定：平成23年)

- 事業名** 歩いてみたい城下町まちづくり事業
事業実施重点区域名 松本城下町区域
事業主体 松本市
事業期間 平成21年度～
活用した補助金
 国土交通省
 ・都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)
 ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

事業の実施に伴う土地・建物の取得

- ・なし
- 文化財等の指定状況**
 - ・松本城天守：国宝(建造物)
 - ・松本城：国史跡
 - ・旧開智学校校舎：国宝(建造物)
 - ・日本聖公会松本聖十字教会：国登録(建築物)
 - ・旧第一勧業銀行松本支店：国登録(建築物)
 - ・松本館旧館、便所棟：国登録(建築物)
 - ・旧光屋店舗兼主屋、文庫蔵：国登録(建築物)

【有識者からのコメント】

松本市内の国・県・市指定有形文化財は、松本城天守を含む42件、国・市登録有形文化財は85件で(令和7年7月時点)、市内の建物総数と比べればわずかである。歴史まちづくりにおいては、「遺す仕事」と「創る仕事」の両方が大きな役割を果たし、関係住民や事業者の主体的関与が街なみの質を高める一つの要素となる。本事業は、住民が「まちづくり協定書」を策定し、「まちづくり推進協議会」を組織している地区を対象とし、助成金の交付に推進協議会の推薦を求めている。協定及び推進協議会の維持には困難もある一方、開智学校校舎の国宝指定(令和元年)に伴い、締結に向けての新たな取組も生じている。(下間)